

第6章 シンボリックな施策

東近江市のめざすべき将来像を実現するため、市民との協働によって重点的に推進する施策を2つのシンボルプロジェクトに分け、横断的に取り組みます。

第1節 安全・安心の地域社会を築く「ひだまりプロジェクト」

安全・安心な地域社会を構築するため、豊かな森の中で、生命をあたたくつつみ、育むことをイメージし、「ひだまりプロジェクト」として推進します。

今日、自然災害や環境汚染、犯罪、疾病や食生活をめぐる問題など、様々な社会不安が私たちの暮らしを取り巻いています。しかし、これらの不安要因は行政の取り組みに加え、一人ひとりが家庭や地域において日頃から意識を高め、お互いに協力し合うことで未然に防止することや軽減を図ることができます。

「安全・安心」が、時代のキーワードとなっている今日、私たちは、安全・安心な地域社会を育て、そして、次世代の人々にとっても本市が住み続けたいまちとなるよう、取り組みを進めなければなりません。

このため、災害に強く事故や犯罪のないまちづくりに努めるとともに、健康づくりや地域医療、食生活など身近な暮らしにおける安全・安心の確保を図ります。また、次代を担う子どもたちに安全・安心な東近江市を引き継いでいくため、子育て支援や教育環境の充実など、子どもたちの未来に向けた安全・安心の確保に取り組みます。さらに、地域の課題を地域で解決し、子どもから高齢者までを地域で見守り、支え合うことで、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会づくりを推進します。

ひだまりプロジェクト

- ◇防災・防犯対策の充実
- ◇身近な暮らしにおける安全・安心の確保
- ◇子どもたちの未来に向けた安全・安心の確保
- ◇高齢者や障害者が安心して暮らせる地域社会づくり

第2節 心豊かな文化都市をめざす「こだまプロジェクト」

心豊かな文化都市をめざすため、心やすらぐ森の中で様々な樹木と生命のふれあいをイメージし、「こだま(木魂)プロジェクト」として推進します。

文化は、芸術文化のみにとどまらず、自然や生活文化・地域文化・組織文化など様々な広がりを持ち、私たち市民の身近なところに存在し、生活を育み、心に豊かさをもたらしてくれます。

本市は、恵まれた自然環境の中で育まれてきた地域固有の多様な歴史文化を有するとともに、市民の文化活動への関心も高く、多彩で活発な地域活動や生涯学習活動が展開されています。このような地域資源を活かしながら市民の一体感の醸成を図るため、全市を新しい東近江文化を創造するキャンパスと位置づけ、芸術文化の振興はもとより、美しく快適で誇りが持てる地域空間の創出や市のアイデンティティ形成など、「文化」を視点に、心豊かな市民生活につながるまちづくりを展開します。

また、本市は多くの地域文化や観光資源を有するとともに、高校、大学や多くの企業が立地しています。このような地域資源の連携や、高度情報通信基盤などの活用により、産・学・地(地域)のネットワークを形成し、一体的な交流のある文化都市をめざします。

こだまプロジェクト

- ◇文化のまちづくり
- ◇文化の基盤整備
- ◇文化の拠点形成
- ◇文化の経済・産業育成
- ◇協働型の自治文化の構築